

テーマ型協働事業に対するコメント概要

事業名	女性の働き方サポート事業					
実施団体名	バリママ倶楽部					
協働団体	ISD個性心理学協会					
テーマ提示課	市民生活課					
テーマ	「消滅可能性都市」脱却のための人口減少対策					
事業概要	<p>【事業目的】 若年女性の転出率が高い今治市は、消滅可能性都市といわれている。子育て中の母親からは、「子どもの預け先がない」「働く場所がない」などの声を聞く。また「子育て世代が働きやすい環境が整備されていない」とのニーズがあり、「今までとは違う働き方の提案」により女性が働くことのできる環境整備をすることが喫緊の課題。</p> <p>そのため、子育て中の女性が、雇用に頼らず自分で仕事を始めるための起業サポート、同じ立場の女性ネットワークを構築し、働く母親が安心して生活できる基盤づくりを行っていく。</p> <p>【事業内容】 本事業では、講師数名から半年間講座を原則オンラインで開催し、「今治市に住む女性の新しい働き方に必要なスキル習得と働き方のサポート」という新たなロールモデルの構築を行う。また、持続性のあるサポート体制を効果的に行うためのコミュニティの形成を目指す。</p>					
補助額	市補助額	291,000円	総事業額	418,112円	補助対象経費	416,514円
コメント	実施団体	<p><事業を実施しての効果> 愛媛県内（特に今治市）を中心に、計22名の受講生が参加。各々がホームページやSNSを活用し、当事業で学んだことを活かして活動を始めている。</p> <p><事業を実施しての問題点> オンライン上で伝えられない事案があり、個別の講座やアドバイスなどが必要となるケースがあった。</p> <p><問題点に対する解決策> 当初の講座内容の変更や、個別での指導を行うことで補完</p>				
	市民活動推進委員	<p>(1) 公益性 ・女性に限定されているので「広く市民に」という点では難しいが、ニーズを捉えており、女性の社会進出、活躍という点で評価できる。 ・先駆性があり、市の施策をサポートできる。 ・一部のニーズであるため公益性は感じられない。市役所職員も参加に含め教育をしていただくと効果があったと思われる。</p> <p>(2) 継続性及び発展性 ・次年度以降の計画も考えられており、また今回の参加者と次回の参加者とのコミュニティ構築もあるということで、継続性・発展性が見込まれる。 ・どのように受講者を集めるかが課題。 ・募集内容が難しく、一部の人しか興味をそそられない。</p> <p>(3) 実現性 ・適格に課題に向き合い、解決に向け事業を構築している。Zoomを使用していることでコロナ対策も考慮しており、今後も実現可能性は高いと思う。 ・事業計画の策定にやや不安がある。</p> <p>(4) 団体の評価 ・「ママ」のサポートに特化した団体で、悩みや現状課題を適切に把握できていることから、一定の評価はできる。今後の活躍に期待したい。 ・決算等、事務能力に課題がある。的確な会計処理をしてもらいたい。</p> <p>(5) 協働の必要性と効果 ・もっと協働したら良いのではないか。 ・4名の講師を招いて多様な角度から学べるカリキュラムであり、受け手の意識にもよるが、10回という回数を重ねることで非常に効果的な事業となっている。 ・講習の内容が創業や働き方サポートにつながるかどうか。</p>				

事業名	女性の働き方サポート事業
実施団体名	バリママ倶楽部
市民活動推進委員	<p><全体評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリママ倶楽部、参加者共に、若い女性の活躍に期待したい。参加者の今後の活動について詳しく知りたい。 ・内容に対し、参加者が22名というのは非常にもったいない。費用対効果の面では少し残念。 ・ICTを活用した事業は行き届かない部分が多いと思うので、次回以降、反省点を改善しながらレベルを上げてほしい。参加者に対してどのような広報をしたか。今後の活動でさらに広い波及を期待している。 ・子育て中の母親が働きやすい環境作りとして、自ら起業する人への道標となったこと、コロナ禍、スマホでも参加できるオンライン講座も時代に合っていて評価できる。子育て世代が働きにくいのは、パートナーや企業側の問題も多いので、そちら側への働きかけも今後の課題としてほしい。 ・働き方サポート事業がまちづくりにどうつながるのかわかりにくい。広く市民に受け入れられる計画にしてほしい。 ・オンライン含め22名参加とのことで、事業実施が初めてにしては参加者がよく集まっている。予想以上に、若い女性の関心のある事業であることがわかった。 ・企画自体は面白いが、起業がテーマであると対象者が限られるので、起業も含め働くという部分に視点を当てるとより多くの方が参加できたのではないかと。 ・参加費を徴収することで活動の継続は可能と思うが、テーマ型なので行政と一緒に取り組むべき課題が提示されるとよりよかった。 ・内容が閉鎖的でオープンでないため非常に評価しづらい。今治市民の参加が少ないのが残念だ。今治市の補助金なので、募集対象を今治市民限定にしぼり、今治市民に対して教育をしていただく講座にしていきたい。 ・テーマにもう少し寄り添った内容にしていきたい。
テーマ提示課	<p>(1) 公益性 女性の社会進出やジェンダーギャップの解消は近年の重要なテーマの一つであり、時代に即している。また、市が直接実施するよりも柔軟な対応が可能で、ニーズに即した内容を提供できる。</p> <p>(2) 継続性及び発展性 対象者が起業を希望する女性と限定的であり、事業の継続と発展にはターゲットや内容を見直すことも必用ではないか。</p> <p>(3) 実現性 事業計画及び予算計画は適切である。また、計画どおりに事業が実施できている。一方、集客や広報面では工夫の余地がある。</p> <p>(4) 団体の評価 事業実施体制はおおむね問題がないが、会計事務等を適切に行う体制づくりが求められる。</p> <p>(5) 協働の必要性和効果 さらに協働を広げ、深化させる余地がある。集客や広報に課題があるので、他の団体と協働することで効果を発揮されたい。</p> <p><全体評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容、実施方法共に時代に即しており、評価できる。会員制オンライン講座の性質上、閉鎖的なコミュニティになる傾向があるので、補助を受けた公益的な事業として、今後は（講師の権利等に差支えない範囲で）活動や成果をオープンな場でシェアすることも行ってほしい。